

# 紫竹学林会通信

2015年12月10日 No.23

2015年度の第31回「紫竹学林会」の会合を2016年1月23日（土）15：30から、大学院棟のある深沢キャンパスにて以下の要領で開催いたします。今回は、第35期OBでサンゴ礁の研究で多くの論文を発表されている鈴木倫太郎氏（(公財)日本生態系協会）に「サンゴ礁海域における地図表現」と題してご講演をお願いいたしました。また同日、地理学教室主催の「Phonpat HEMWAN氏の博士論文発表会」が「紫竹学林会」の前に開催されます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、会への出欠を1月16日までにご連絡いただきたくお願い申し上げます。連絡先は同封の出欠確認用紙に記載してあります。Fax、郵便の場合は、同封の出欠確認用紙をご利用ください。  
(幹事)

**日時：2016年1月23日（土）**

**会場：駒澤大学 深沢キャンパス・アカデミーホール2階2-1 会議室**

## 博士論文発表会（地理学教室主催）

**【博士論文発表会】 14:00～15:20**（発表60分+質疑20分）

Phonpat HEMWAN（ポンパット ヘムワン）氏：

論文：Participatory GIS for Rural Land Use Planning with the Scope of Adaptation to Environmental Changes.（環境変化への対応を視野に入れた農村土地利用計画のための参加型GIS）

Phonpat氏は、タイ・チェンマイ大学社会科学部地理学科講師 兼 Geo-informatics and Space Technology Center 所長で、現地NGOとともに北タイの山村で少数民族の村落開発に取り組んでこられました。

## 紫竹学林会（講演会・総会・懇親会）

**【講演会】 15：30～16：50**（講演会と総会の会場は修士論文発表会と同じ）

**講師：鈴木倫太郎氏：「サンゴ礁海域における地図表現」**

鈴木倫太郎氏（公益財団法人 日本生態系協会グラントデザイン総合研究所主任研究員/駒大応用地理研究所所員）鈴木氏は、サンゴ礁の専門家です。最近では「石垣島白保サンゴ礁浅海域における地域住民による調査の実施と造礁サンゴ群集の5年間の変化」地域学研究, No.27, 77-86, 2014などの論文を執筆されています。

**講演要旨：**地球の表面積の0.1%ほどのサンゴ礁には、地球上の海に生息する1/4もの生物が生息し、私達はそこから様々な生態系サービスを楽しんでいます。しかし、温暖化や陸域の開発によって、世界のサンゴ礁環境は衰退しています。現在、サンゴ礁では様々な保全対策が成されていますが、それを検討する基礎資料として地図は重要な役割を果たしています。そのサンゴ礁の地図について、これまでにその環境がどのように描かれてきたかをご紹介します。

**【総会】 17：00～17：20**（大学院OB会員・院生）：2015年度会計報告、幹事改選、その他

**【懇親会】 17：20～19：00**（会員だけでなく学部卒業生など、どなたでも参加できます）

**会場：駒澤大学深沢キャンパス 洋館小ホール 会費：5000円（院生・学部生：2000円）**